

# 中標津農業高校&計根別学園 かぼちゃランタンづくりの検討



みんなのなかしべつプロジェクト  
2018.1.23

## ・ランタンづくり発案の経過

第3回みんなのなかしべつプロジェクト(H29.9.1中標津町交流センターで開催)では、景観を守り育てていくには時間がかかり、様々な人が関わる必要がある。

まちに愛着や誇りを持つ次の世代を育てるには、子供から大人までが協働する景観まちづくりを継続しなければならない。そのためには、子供たちの計根別への愛着を育てることが重要。

⇒幅広い世代が楽しく関わるきっかけづくり

⇒子どもたちの計根別への愛着の醸成

**参加者からアイデアとして発案されました**

# 子供たちとの取組のアイデア

中標津農業高校と計根別学園が連携した取り組みができたなら？

⇒近年ハロウィンも日本でも定着してきたイベントであることから農業高校でかぼちゃを栽培し、学園の子供たちが「かぼちゃ」でランタンをつくり、まちに飾る！

- ・単発イベントではなく、計根別の景観まちづくりや子供たちの人材育成に生かされるストーリーが必要
- ・まずは、大人が中心となって実施し、それから子供たちと一緒に取り組むのがよい
- ・学園の生徒だけでなく、大人も協働でなければならない

## ・そもそも「ハロウィン」とは？

ヨーロッパ発祥の秋に行われるキリスト教の行事で、簡単にいえば、日本のお盆に相当するもの。

11月1日がキリスト教の万聖節になり、それを祝う前後の日をハロウィンと呼んでいます。

欧米でも宗教的な意味合いは薄れ、民間行事として定着しています。



## ・なぜ「かぼちゃ」なの？

秋の収穫や悪魔祓いの儀式として、悪魔除けのランタンとされていたもので、スコットランド等では「かぶ」を使っていたが、ハロウィンがアメリカに伝わった時に、たくさん獲れていた「かぼちゃ」を使うようになりました。

# 第1回打合せ(H29.11.24)

参加者：中標津農業高校 漆原教頭先生、篠田教諭

みんなかメンバー 細谷さん

事務局 佐瀬、桑田(役場)

## ・打合せ内容

### 【篠田教諭からの提案】

本校のマネージメント研究班が行っている「食育学校」の活動にしてはどうか

⇒現在、計根別学園と計根別幼稚園の児童、園児に対し本校の生徒が野菜の栽培管理を通じた食農教育を展開中、この活動を利用しカボチャの生産を行うことが可能ではないか。

## 【実施に向けて】

- ・計根別学園の畑でハロウィン用かぼちゃを生産してはどうか。
- ・生産したかぼちゃは農高生と学園の児童でランタンに加工してはどうか。
- ・計根別幼稚園の園児にも食育活動としてかぼちゃを園の畑を使用して生産してはどうか。
- ・大量のかぼちゃが必要であるため、地域のみなさんの協力を募るのはいかがでしょうか。

## 【課題】

### ・資金をどうするか

カボチャ(小) 10～20粒 200円 (1つの苗から4～5個収穫可能)

カボチャ(大) // 590円

マルチング資材 11,650円 (200m)

### ・かぼちゃ生産に係る圃場の確保(農業高校の圃場は

### ・圃場の管理をどうするか？(水やり・シカの食害など)

・・・ちなみに、先進地ニセコでは、

まち全体に飾っているかぼちゃは4千～5千個

生産にあたって必要な面積は2ヘクタール

今年で  
10周年!

# ニセコハロウィン

2017年  
10月8日(日)  
10:00~15:00

ニセコ中央倉庫群に集合!

見るだけでも楽しい仮装コンテストに  
美味しいグルメが大集合!

今年から会場が  
変わります!

ニセコ中央倉庫群  
ニセコ駅から徒歩5分

ニセコ駅  
駅前温泉  
神楽乃湯

11:00  
12:00

仮装して、TRICK OR TREAT &  
コスチュームコンテストに参加しよう!

★参加費: ¥500 (1名様)  
★受付: 10:00~11:30

当日先着 300名様  
予約不可 / 見学無料

詳細は下記Facebookをチェック!  
[facebook.com/NisekoHalloween/](https://www.facebook.com/NisekoHalloween/)

his Hokkaido International School  
Accredited by the Western Association of Schools and Colleges

IKEUCHI GROUP

Ki NISEKO

RADIO NISEKO  
76.2MHz

お問合せ: TEL 0136-44-2468 (9時~18時)  
ニセコリゾート観光協会

ニセコ  
NISEKO

ニセコ  
Niseko

(株)ニセコリゾート観光協会  
Niseko Resort Tourist Association



# 第1回協議のまとめ

・圃場の確保については、細谷設備さんの土地を提供することが可能。計根別小学校跡地の利用も可能。計根別学園との連携ができれば、利用可能かもしれない。各家庭の家庭菜園でかぼちゃを作って持参してもらうこともできるのではないか。

⇒食用とハロウィン用かぼちゃが交配してしまうので影響の無いようにしなければならない！

・管理について、農高生で管理可能だが、民有地になると困難である。地域の人との協力を得る必要がある。継続するのであればシステムづくりが必要(教員の異動があるため)

・かぼちゃの個数

道道沿いに配置したい。(学園から農高交差点までの約1km)

余れば幼稚園や学園にも配置⇒300個くらいあればOK?

## ・資金について

種以外にも防鳥ネットや畑を耕したり肥料などの経費も発生する。計根別アピールを実施した際に北海道から補助金交付されたので、これを活かさないだろうか？（地域づくり総合交付金：北海道）

計根別町内連合会と連携を図れるのであれば、景観形成推進補助金（中標津町）の活用が可能

その他、計総振や同志会への働きかけ

## ・今後について

食育活動の一環とするのであれば、学園や幼稚園の担当教諭と協議が必要である。かぼちゃの種の発注は年明け早めが良いので、関係者を集めて協議したい。

まずは小さい範囲で無理をせず実施、今後につなげたい。

## 第2回打合せ(H29.12.18)

参加者：中標津農業高校 漆原教頭先生、篠田教諭  
計根別学園 近藤教頭先生  
みんなかメンバー 佐藤連合会長、細谷さん  
事務局 東田(景観ネットワーク)佐瀬、桑田(役場)

### 【打合せ内容】

#### ・圃場の確保について

計根別小学校跡地は幼稚園も利用していない状況であることから利用可能だと思われる。裏手が崖地になっているのでシカの影響はなのでは？しかし水の確保ができない。

細谷設備さんの土地はソーラーパネルの隙間に植えることが可能。近くに井戸があるので、水道代を気にせず水を使える

## ・かぼちゃの育成について

種をポットで育て、苗を畑に植える。発芽までの温度管理が必要、農高のハウスはスペースが無い。ポット用の培土が必要。

畑に植えてからは手入れが少なくてもよいが、根付くまでは肥料が必要。整枝もしなければならない。

## ・計根別学園との連携

学園としては食育とつなげるのは難しい。すでに学園でも食用かぼちゃを栽培しているので、交配の問題も出てくる。かぼちゃをもらって図工や家庭科の時間に加工したりする協力や児童会を通してハロウィーンパーティーなら考えられるが、現時点で事業に組み込むことは困難。休日に開催して地域の子供たちを集めたり、学園全学年に有志を募ったり、児童クラブ(3年生以下)を誘うなど、検討が必要。学園としては希望者を募ってランタン作成ということになる。

・ランタンの設置について

飾り付けの期間は2週間が限界(傷んでくる)

夏季に沿道に設置するプランターを回収するときにランタンを設置できると手間が省ける

10月末に学園祭があるので、上旬でなければ難しい

設置中に傷んだかぼちゃは誰が回収するか？

実施する場合は町内会の回覧版で周知が必要

道路沿いに設置するとメインは学園か農協になる。もしくは駐在所かバスセンターもあり

・・・ちなみにニセコでは、役場がかぼちゃを作り、勝手に家の前に置いていき、各家庭でランタンづくりをする。傷んだら随時交換する。

## ・資金について

地元の有志企業から賛助してもらう。既に1社確保済み  
役場から町内連合会に対し景観形成推進補助金(補助率1/2、  
上限10万円)の制度がある。

北海道地域活動振興協会の助成金(3万円)があり、手続きも  
簡単。

組織化することで、補助金等の資金集めが容易になる。

## ・その他

組織化するのであれば、実行委員会形式で計根別で組織した  
ほうが動きやすい。

組織化するにあたり、若い人を代表とし子供のいる父母をター  
ゲットにしてはどうか

各町内会から2名ずつ選出し10人程度集めたい。

# 今日打ち合わせすること

- (1) 計根別全体で実施することの意思確認
- (2) 実行委員会組織(代表者)
- (3) 資金の確保
- (4) 実行にあたっての役割分担
- (5) 実施スケジュール
- (6) その他